

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +50℃ (梱包状態)	
	電 圧	AC/DC 50V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)	
	電 流	0.5A (全芯数通電する場合は×70%)	適合ケーブル	t=0.3±0.03mm, 接触部:金めっき	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的 性能	耐電圧	AC 150Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	500MΩ 以上	○	○
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下, 1mAで測定する。	100mΩ 以下 ※FPC導体抵抗を含む。(L=8mm)	○	○
機械的 性能	耐振性	周波数 10～55Hz, 片振幅 0.75mm, 3軸方向 各10サイクル試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 100mΩ 以下	○	—
	衝撃	加速度 981m/s ² , 持続時間 6ms, 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	繰返し動作	20回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 100mΩ 以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	FPC保持力	適合FPCで測定する。 (初期, FPC端末厚 t=0.30mm)	水平方向 0.15×極数 N以上	○ (注)	—
環境的 性能	塩水噴霧	温度 35±2℃, 濃度 5%の塩水噴霧中に 96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ 以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ③ はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30 → 2～3 → 30→ 2～3分 に 5サイクル放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ 以下 ② 絶縁抵抗: 50MΩ 以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 相対湿度 90～95%中に 96時間放置する。		○	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10～+65℃, 相対湿度 90～96%中に 10サイクル(240時間)放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ 以下 ② 絶縁抵抗: 1MΩ 以上 (高温時) ③ 絶縁抵抗: 50MΩ 以上 (乾燥時) ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 85±2℃中に, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ 以下	○	—
	耐寒性	温度 -55±3℃中に, 96時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	二酸化硫黄 [JIS C 0090]	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, 濃度 25±5ppmに, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ 以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	硫化水素 [JIS C 0092]	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, 濃度 10～15ppmに, 96時間放置する。	③ はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃, 浸せき時間 3±0.3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—
はんだ耐熱性	1) リフローの場合 ヒート温度 250℃MAX リフロー部温度 230℃以上 60秒以内 2) はんだこての場合 350±10℃ 5±1秒間	外観の変形, 及び端子などに 著しいガタがないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	MO. ISHIDA	13.08.03
注) 本品のロック方式は、フリップロック(回転ワッatch構造)であり、FPCに垂直方向の荷重が加わる場合は、FPCを固定してご使用願います。			検 図	YN. TAKASHITA	13.08.03
			担 当	SI. TAMAKI	13.08.03
			製 図	TO. HATTORI	13.08.02
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-351252-00		
HRS	製品規格表		製品名	FH55-22S-0.5SH	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580-3707-7-00	△ 1/1